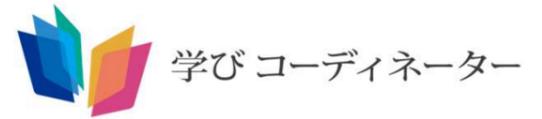


平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



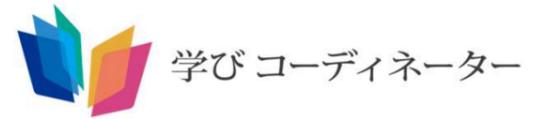
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1001	文学研究科	人々はどうやって和歌を作ったか —本意(ほい)の概念— 【内容】辞書を使っても、あれこれ想像しても、どうも納得できない和歌があります。「この歌人は、なぜこんな和歌を詠んだのだろうか？」詠み手の思考回路を探ってみると、「本意(ほい)」というキーワードに辿り着きます。和歌を理解する上で重要な「本意」について、大学での研究手法を紹介しながら解説します。	100名程度	8/1～9月半ばまで全曜日可、それ以降月・水の全日、火曜の午後、木曜の午前のみ可。	全国可	受入可
1002	文学研究科	くずし字を読んでみよう 【内容】古典文学を勉強するために、まず必要になるのは、「くずし字」を読む力。遠い昔に書かれた本そのものと向き合い、現代とは違う形の文字に悪戦苦闘しながら、じっくりと文字を読むとき、教科書を読むのとはまた違った風情を感じることでしょ。古人(いにしへびと)の筆づかい・息づかいを、身近に感じてみましょう。	100名程度	8/1～9月半ばまで全曜日可、それ以降月・水の全日、火曜の午後、木曜の午前のみ可。	全国可	受入可
1003	文学研究科	前漢皇太后列伝—権力を握った母たち— 【内容】前漢は皇太后の権力が非常に強い時代であり、皇帝の母(祖母)による政治介入が頻発していました。とりわけ、皇太后が皇帝の代理人として全権を掌握する「臨朝称制」は、その最たるものです。今回の授業では、前漢一代において皇太后の政治介入がどのように行われたのか、そして彼女たちによる政治介入の方法が時代とともにどのように推移したのかを追います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8月中、11/3は不可	全国可	受入可
1004	文学研究科	母后執政の頂点と崩壊 【内容】後漢は年少の皇帝の即位が相次いだことから、皇太后による政治代行(臨朝称制)が多発していました。彼女たちは自らが中心となって皇帝の代行を行うことが可能でした。しかし、後漢半ばに外戚(皇太后の親族)と宦官が提携し始めると、外戚たちは、今までほど皇太后の存在を必要としなくなりました。その流れの結果、皇太后による執政は終焉を迎え、以降の新たな政治体系へとつながります。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8月中、11/3は不可	全国可	受入可
1005	文学研究科	社会学ってどんな学問? 【内容】社会学は、就職しやすい専門分野として大学では人気のある学問のひとつですが、社会学そのものに、人に知的好奇心をかきたてる魅力が備わっていることも人気の理由として挙げられるでしょう。この授業では、心理学、経済学などとはまた違った社会学固有の面白さについて、マックス・ヴェーバーの学説をもとにお伝えします。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降の月曜日午後は不可	全国可	受入可
1006	文学研究科	日常の精神分析 【内容】精神分析という言葉を知ると、どういうイメージが浮かぶでしょうか?そのイメージは、精神科のお医者さんでしょうか?それとも、人の心を見通す魔術でしょうか?実は、精神分析は私達の身近でもよく使われている技術なのです。この授業では、私達の日常でお目にかかる「精神分析」なるものを、転移や昇華の例を挙げてお話しようと思います。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降の月曜日午後は不可	全国可	受入可
1007	文学研究科	社会福祉士の役割 【内容】社会福祉士という職業を聞いたことがありますか?この授業では、社会福祉士がどういう仕事をする人なのかをわかりやすく解説します。また、社会福祉士国家試験を受験した経験から国家資格試験についてもお話します。社会福祉に興味のある方、社会福祉士の国家資格をとりたい方はぜひご清聴ください。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降の月曜日午後は不可	全国可	受入可
1008	文学研究科	クリティカルシンキング入門～脳トレの是非を検討する～ 【内容】高度な科学的知識を前提とする議論であっても、文章の構造を分析して主張を検討するスキルが、クリティカル・シンキング(CT)です。本授業では、伊勢田哲治・戸田山和久・調麻佐志・村上祐子編『科学技術をよく考える』の第二章「脳神経科学の実用化」を高校生向けにリライトした文章の読解・討論を行い、一般によく知られた商品に科学的知見がどのように関わっているのか、その是非について学びます。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8月中、水・金曜日は不可	全国可	受入可
1009	文学研究科	クリティカルシンキング入門～地球温暖化について考える～ 【内容】高度な科学的知識を前提とする議論であっても、文章の構造を分析して主張を検討するスキルが、クリティカル・シンキング(CT)です。本授業では、伊勢田哲治・戸田山和久・調麻佐志・村上祐子編『科学技術をよく考える』の第六章「地球温暖化への対応」を高校生向けにリライトした文章の読解・討論を行い、科学的知見と政治的な意志決定の関係について学びます。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8月中、水・金曜日は不可	全国可	受入可
1010	文学研究科	江戸時代を「草紙」からのぞいてみる 【内容】江戸時代といえば?「儒教」「封建社会」「男尊女卑」?幕府の政策はたしかにそうだったかもしれませんが、それでは、その下の庶民は、どのように生きていたのでしょうか。親に逆らって勘当される息子、夫を尻にしく妻、幕府の政策を笑いものにする戯作者、…庶民の読み物だった「草紙」から、高校の授業では習わない江戸時代をのぞいてみませんか?	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、金曜日、11月中旬～下旬は不可	全国可	受入可
1011	文学研究科	俳句とは何か? 【内容】今も目にする五・七・五の「俳句」や「川柳」。そのはじまりは、日本の伝統文化や、庶民の生活に根ざした連想ゲームでした。実際に俳句をよんでみることや、江戸時代の俳諧を味わうことを通して、その面白さに触れるとともに、五・七・五の歴史をたどってみたい。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、金曜日、11月中旬～下旬は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



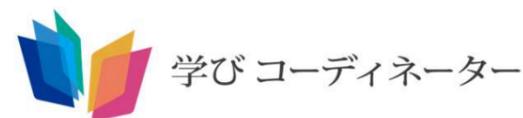
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1012	文学研究科	書き間違いから見る日本語の音の歴史 【内容】「ぜえいん3ちにわたいくかんえあつまろお。」書き間違いは話される音と密接に関係することがあり、日本語の音の研究にとって重要な資料となります。現在話されている音と昔話されていた音とは異なるところがありますが、その音の移り変わりの歴史を、古い文献に見られる実際の書き間違いを紹介しながら解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/4～7、9/26～30は不可	全国可	受入可
1013	文学研究科	『万葉集』を読む 【内容】『万葉集』が作られた奈良時代にはまだひらがなもカタカナも存在しなかったため、『万葉集』の和歌は全て漢字で書かれています。そのため、和歌の内容の解釈以前に、何と読むかが問題となります。時におもしろおかしく、時にお手上げ状態になる、『万葉集』の読みについて紹介します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/4～7、9/26～30は不可	全国可	受入可
1014	文学研究科	私たちはどのようにして歴史を知るのか? 【内容】高校世界史の教科書などに記述されているような歴史は、一体どのような情報に基づいているのでしょうか。本テーマでは、古代ローマ帝国を例に、文字史料、考古資料を用いて歴史の再構成の過程を示し、現代の人々が過去のことについて知る最新の方法の一つを紹介します。とりわけ、高校生になじみのない、石などに刻まれた碑文を取りあげ、そこから歴史学者がいかんして情報を読み取るかを伝えます。	50名程度	8/3～6、20～31、9/1～14、19～30(24、25を除く)10月・11月の月・土曜日	全国可	受入可
1015	文学研究科	古代ローマ人の日常生活 【内容】本テーマでは、2000前に生きた古代ローマの「庶民たち」に焦点を当て、彼らが普段どのような生活を送っていたかを最新の研究成果を踏まえて紹介します。とりわけ、高校生が自分自身と比較しやすいように、「教育」と「娯楽」の面に焦点を当て、現代に生きる人々とどこが似ていて、どこが異なるのかを考えていただきたい。逸話的な文字史料だけでなく、考古資料の写真などのスライドを用いて説明します。	50名程度	8/3～6、20～31、9/1～14、19～30(24・25を除く)10月・11月の月・土曜日	全国可	受入可
1016	文学研究科	古代ローマとオリンピック 【内容】2020年、日本にて開催予定のオリンピックは、西洋古代世界に起源を持っています。特に、古代ローマ帝国東方においては、オリンピックの由来となっているオリュンピア競技祭、およびそれに準ずる競技祭が各地で開催されるようになり、「競技祭の爆発」という現象が起こりました。この現象をもとに、ローマ帝国におけるオリンピックのような競技祭の意義を考えるとともに、そうした過去の状況を現在と結びつけて考察します。	50名程度	8/3～6、20～31、9/1～14、19～30(24・25を除く)10月・11月の月・土曜日	全国可	受入可
1017	文学研究科	動物のこころの世界を覗いてみよう 【内容】動物たちには世界はどのように見えているのでしょうか?仲間とはどうやってコミュニケーションをとっているのでしょうか?また、動物にもヒトと同じような感情はあるのでしょうか?記憶は?このように、動物たちの心を知りたいと思ったことは誰にもあるはずですが、近年の研究で動物の心は複雑で豊かなものであることがわかってきました。比較認知科学の最新の研究成果からそのうちの一部を取り上げ、解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/6～17、9/10～12・17・18、11/19・21、水曜日は不可	全国可	受入可
1018	文学研究科	科学で知りたい! イヌのこころ 【内容】イヌはヒトにとってかけがえのないパートナーです。イヌが高い学習能力や知性を持っていることは、イヌを飼ったことがあるヒトはもちろん、盲導犬や介助犬などの働きを見てもわかります。しかし、このイヌの心が科学的に調べられるようになったのはここ最近のことです。イヌの推論能力、ヒトの感情やヒトの性質の認識など、科学的な手法で明らかになったイヌの心について、自身の研究内容も織り交ぜて紹介します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/6～17、9/10～12・17・18、11/19・21、水曜日は不可	全国可	受入可
1019	文学研究科	動物研究法:動物の学習の仕方 【内容】動物の心理を研究するに当たって、基本的かつ重要な概念である「学習」について講義と実習で授業をします。学習の定義や種類、それらが起こる仕組みなどを簡単に解説した後、動物にある行動を教えた時に用いる「逐次接近法」という技法を、ゲーム形式で実際に体を動かして体験してもらいます。	15名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/6～17、9/10～12・17・18、11/19・21、水曜日は不可	全国可	受入可
1101	教育学研究科	アメリカの高大接続制度 【内容】近年日本の大学入試改革が盛んに行われる中、従来の学力による選抜が徐々に学生の思考力・批判的な検討能力等の総合能力を重視する選抜へと移行しつつあります。アメリカの大学入試試験が従来から学生の総合能力に評価の重点を置いています。本授業はアメリカの高大接続制度に注目し、その理念、実態、特徴、課題等についての検討を通して、日本の高大接続制度改革について理解を深めることとします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/6～18は不可、木・金曜日に実施可	全国可	受入可
1102	教育学研究科	東アジアの高大接続制度 【内容】近年、大学入試改革が東アジア地域の各国においては、積極的に進められています。本授業は欧米の教育制度・政策に強く影響を受ける東アジア諸国がこれらの欧米諸国の制度・政策を導入する際、いかに自国の実情に応じて制度改革を行ったのかについて検討します。東アジア諸国の大学入試改革の実態と課題についての検討を通して、日本の高大接続制度改革の必須要素を抽出し、異文化理解を深めることも期待されます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/6～18は不可、木・金曜日に実施可	全国可	受入可
1103	教育学研究科	中国の文化・風習 【内容】本授業は中国の文化・風習についての紹介を通して、異文化交流・異文化理解の促進を目指します。具体的に、中国の歴史の流れ、食生活(地域別)、伝統文化、今の生活スタイル、人口構成、教育制度、学校の風景、教科書の特徴、中国語の特徴等について紹介します。異文化に接触する際どのような行動や思考をするのかを受講者で議論し異文化理解を深めていくことを目標とします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/6～18は不可、木・金曜日に実施可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



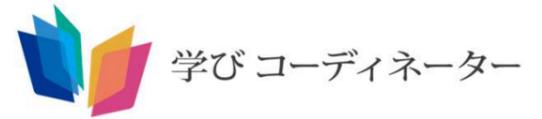
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1301	経済学研究科	航空経済学～世界へ！日本の空港とエアライン～ 【内容】航空業界は規制緩和が推し進められています。羽田空港に国際線が再就航し、各地の空港には内外のLCC(Low Cost Carrier:格安航空会社)が就航を始めています。日本の玄関である空港のあり方、未来について交通経済学を通じて考えます。	指定なし	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1302	経済学研究科	交通経済学～渋滞・ラッシュをなくすために～ 【内容】通勤時間帯の鉄道は大いに混雑し、道路も激しく渋滞します。これらによる時間的な損失は膨大であり、人々は著しく不便を強いられています。この対策として、時差回数券や高速道路の通勤割引など、交通経済学をベースとした仕組みが現実に導入されています。経済学が社会でどのように活かされているかを渋滞・混雑を例に解説します。	指定なし	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1303	経済学研究科	都市経済学～東京一極集中と地方が生きる道～ 【内容】ヒト・モノ・カネはますます東京に集中を続けています。集中することは便利さを生み出す一方で、混雑や地価の高騰などのデメリットも生じさせます。集積・集中が生じるメカニズムを明らかにしたうえで、東京が、そして地方が発展していく方策について都市経済学の理論を用いて考えます。	指定なし	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1304	経済学研究科	高校生でもわかる簿記会計を学んでみよう 【内容】簿記会計を楽しく、わかりやすく学びます。600年以上前から誕生した簿記が今なお、原則的な処理方法が変わっていません。この長きにわたり使われている簿記会計の歴史を学びます。そしてこの簿記会計が現代でどのように使われ、役立っているかを解説します。	300名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9月以降の火・金曜日は不可	全国可	受入可
1305	経済学研究科	高校生でもわかるコンピュータ会計を学んでみよう 【内容】コンピュータ会計を楽しく、わかりやすく学びます。具体的な内容は、パソコンなど普及による情報革命によって私たちの生活も大きく変わりました。企業の帳簿記入もコンピュータ化が進み、パソコンによる帳簿記入も主流になりました。このコンピュータによる帳簿記入を会計ソフトを使い体感してもらいます。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9月以降の火・金曜日は不可	全国可	受入可
1306	経済学研究科	高校生でもわかる税金を学んでみよう。 【内容】税金を楽しく、わかりやすく学びます。私たちの生活に必要な学校や道路を維持している租税、税金の種類、所得税、消費税、法人税の内容や仕組みについて、わかりやすく解説します。	300名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9月以降の火・金曜日は不可	全国可	受入可
1307	経済学研究科	景観の経済的価値 【内容】昨今、観光地などで町並みを守る景観条例が作られています。こうした条例は、歴史的な町並みや環境を守る観点から語られることが多いものです。しかし、一方ではまちの経済的発展から反対する意見もあります。授業では、色々な財やサービスが商品となる社会において、景観を守ることにどのような経済的価値があるのかを考えてみましょう。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/29以降の火曜日、9/24・25、11/13は不可	全国可	受入可
1308	経済学研究科	縮小する都市の時代を考える 【内容】人口減少化時代が到来するなか、これまでは膨張する都市人口への対応が主な政策課題でしたが、現在はいかにコンパクトなまちにするかが大きな課題となっています。本授業では「空き家問題」を取り上げ、これからの社会において、経済学的な視点からどのような対策が必要かを学んでいきましょう。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/29以降の火曜日、9/24・25、11/13は不可	全国可	受入可
1309	経済学研究科	経済学と水産業—漁業経済学という学問— 【内容】漁業とは、水産業とは何でしょうか。釣り人(遊漁)と漁師の違いは何でしょうか。家族で食べるため干物を作っているばあちゃんと、近所のおばちゃんが働く加工場とは一体何が違うのでしょうか。漁業および水産業を経済学的に分析する「漁業経済学」分野から、沿岸域を見ます。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10/1以降の月曜日は不可	全国可	受入可
1310	経済学研究科	地域を分析する 【内容】研究者が地域を見るときに何を基準にしてみるのでしょうか。基本となるのは統計です。人口、就業者数、子供の数などから地域がどういう「現状」にあるのかを推し量っています。本講義では、中学・高校で学ぶ統計学を基礎として、統計資料を分析し、その有用性と限界を学びます。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10/1以降の月曜日は不可	全国可	受入可
1311	経済学研究科	経済政策とその思想 【内容】政治的な問題と経済的な問題はきれいに分けられるのでしょうか。経済政策を行う際、そこには暗黙的に政治的な含意が存在しています。地方への工場立地といった地域開発などを例に、政治と経済が混在している実態を示します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10/1以降の月曜日は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



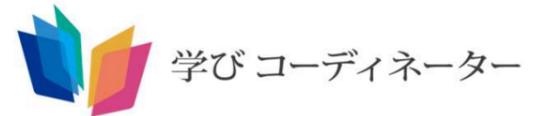
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1312	経済学研究科	10年後の未来をつくるために—イノベーションと正当性 【内容】社会を変えるような製品・サービスを生み出すこと、すなわちイノベーションを起こすために企業は日々活動しています。しかし、人を驚かせたり、社会のあり方を変えてしまうような大きなインパクトを生み出すイノベーションの実現には10年程度の年月をかけることも珍しくありません。そのような遠い未来における成功の確証を用意することは非常に難しく、途中で予算が打ち切られてしまう研究も少なくありません。どうすればイノベーションは実現にこぎつけるか。「正当性」をテーマに、経営学の見地から考察を加えます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、11/2・3、金曜日は不可	全国可	受入可
1313	経済学研究科	誰かと何かを「成す」ということ—「組織論」の歩みをみてみよう 【内容】企業などをはじめとして、一人では成し得ない規模の活動を実現するための人の集合を「組織」と呼びます。組織行動では一人ではできないようなことができるようになる一方、誰かと行動を共にすることによる問題も当然発生します。また、「どのような組織が成功するのか」についても経営学では様々な説が唱えられてきました。先行研究を紹介しつつ、「組織の在りかた」について経営学を交えて考えてみましょう。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、11/2・3、金曜日は不可	全国可	受入可
1314	経済学研究科	冷戦史のすすめ 【内容】「冷戦」この言葉を聞くと、たいていの高校生は三学期に少しだけ習ったことのある単元、と考えます。しかし、多くの高校生が私たちに一番近い歴史である冷戦について、あまりよく知りません。そのため国際的なニュースを見ても理解できなかつたり、難しく感じます。この授業では、1945年から1989年の世界がどのような状態にあり、現代につながっているのか、その過程を学びます。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/1～14、金曜日は不可	京都、大阪、兵庫	受入可
1315	経済学研究科	ソ連と東欧諸国—冷戦の東側の国家 【内容】冷戦における東側と呼ばれる国家について、日本の歴史教育ではあまり学習する機会がありません。この授業では、すでにない国家ソ連と東ドイツを取り上げ、それらの国家はどのような国であったのか、どうして崩壊してしまったのか、という視点から冷戦とは何だったのか、ということを考えてもらうことを目的としています。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/1～14、金曜日は不可	京都、大阪、兵庫	受入可
1316	経済学研究科	なぜ勉強するのか 【内容】学問という言葉は耳にするとそれはとてつもなく難しいものにも感じられます。勉強と学問の違いを浮き彫りにしつつ、どうして学ぶ必要があるのか、そしてそれが将来どのような意味を持つてくるのかということ、高校生のうちに考える機会を持つことでこれからの人生の選択肢を増やしてもらうことを目的とします。なお、大学院、そして研究者という職業選択についても話したいと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/1～14、金曜日は不可	京都、大阪、兵庫	受入可
1317	経済学研究科	中国経済の光と影 【内容】近年、中国は著しい経済成長率を遂げています。また、工業化や都市化もものすごい勢いで進んでいます。一方、環境悪化や所得格差、社会保障の不備などの問題も深刻化しています。そこで、中国経済の光と影というタイトルで、改革開放35年の間、中国の変化に着目し、歴史を振り返り、現状を分析します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、9/18～20、10/17・18、月・金曜日は不可	全国可	受入可
1318	経済学研究科	環境税とは何か? 【内容】OECD諸国でよく議論されている環境税や炭素税があります。そもそも環境税とは何か?アジア諸国に環境税はあるのか?環境税の理論から、歴史の変遷、そして諸外国の導入状況を確認し、環境税を巡る議論を行います。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、9/18～20、10/17・18、月・金曜日は不可	全国可	受入可
1319	経済学研究科	中国の不動産バブルについて 【内容】中国の経済成長は不動産市場によって支えられている一面があります。特に、近年は銀行から国有企業への低金利融資、地方政府が土地の運営より収入最大化を図ろうとする結果、土地投機の促進や地価の高騰、中国の不動産市場バブルが今や弾こうとしています。そこで、中国の土地制度の特徴を紹介し、中国の不動産市場の仕組みを解説します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、9/18～20、10/17・18、月・金曜日は不可	全国可	受入可
1320	経済学研究科	私たちの生活と森林の関係について考える 【内容】今日、森林は私たちの生活、特に地域生活に様々な影響を与えていることを認識する一方で、その森林がますます荒廃している現状を理解することが重要です。私たちはこれからどう森林と付き合い合っていくべきかを環境経済学の視点から、生態系サービスという用語を使って、わかりやすく説明します。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/7・8・31、9/1・3～6・12・27・28、10/17・18、11/2・3は不可	全国可	受入可
1321	経済学研究科	地方創生時代に地域で生きるとは? 【内容】現在、地方がアツい。国の方でも地方創生が重視され、注目すべき地域住民による主体的な地域づくりが行われています。地産地消の仕組みづくりや地域産業の活性化などの地域づくりは、従来の都会と田舎の関係を変える可能性を持ったものです。このような時代の変化の中で、これから大人になっている高校生たちと地域で生きることをともに考えていきます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/7・8・31、9/1・3～6・12・27・28、10/17・18、11/2・3は不可	全国可	受入可
1322	経済学研究科	私たちはなぜ税を納めるのか? 【内容】日本においても、増税の動きが増えてきていますが、私たちにとって税とは何なのかほとんど議論されていないままになっている可能性が高くなっています。税金は国に言われて取られるだけのものではなく、自ら支払う意義を自覚することができるものです。税金に関する様々なトピックス(消費税や所得税、金融取引税や森林環境税)を取り上げながら解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/7・8・31、9/1・3～6・12・27・28、10/17・18、11/2・3は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



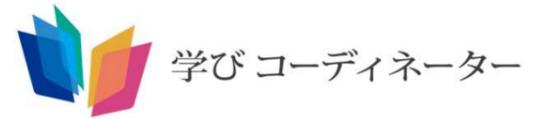
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1323	経済学研究科	我々の「貯蓄」って、どこへいくの？ 【内容】お金の流れを理解するという目的で、様々な金融機関に国民が貯蓄したお金は、どのような形で、どこへ行き、また、どのような形で戻ってくるのかなど、いわゆる、「お金の循環の姿」をわかりやすく説明します。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1324	経済学研究科	「銀行」って、何をするとところ？ 【内容】いわゆる「金融」というものをわかりやすく理解するため、銀行という金融機関に焦点を合わせて、銀行が生まれた理由やその背景、現在に日本全体に果たしている役割について、説明します。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1325	経済学研究科	我々が暮らしている地域を元気にする方法 【内容】「地域経済論」の視点から、地元の経済は、今やどのように形成されており、どのような構造を持っているのかを理解し、その地元経済を元気にするためには、何が必要なのかについてわかりやすく説明します。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1326	経済学研究科	Amazonとベトナム戦争～世界を変えた「物流の発明品」「宅配便」と「コンテナ」について～ 【内容】今、Amazonなどネットを利用した通販が急激に拡大しており、それを支えるのは「宅配便」システムの普及です。また、現代日本の日用品の多くは国外から輸入したものであり、それらの多くは「コンテナ」に詰められて運ばれます。このように身近な経済を支える物流は社会に欠かせないものであり、物流業の進化の過程と社会的意義を「経営史」という経営システムの発展を歴史的に俯瞰する学問を通して優しく解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/17～20、9/16～23、10/10・11は不可	全国可	受入不可
1327	経済学研究科	「カイシャ」とあなたの将来(学問とキャリア選択) 【内容】「カイシャ」とは何だろう？大人になれば自動的に入るもの？賃労働が主流の現代経済社会に必要な組織として「会社」に多くの人が勤めており、教育と雇用の接続は多くの人の注目を集めています。教育現場では「理想モデル」に基づきがちなキャリア論ですが、日本の雇用の歴史と受講者のキャリア選択について、ビジネスマン時代の実体験を交えて1本道ではないキャリアパスにも触れながら議論します。	30名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/17～20、9/16～23、10/10・11は不可	全国可	受入不可
1328	経済学研究科	世界史と日本史の接続(経済史から考える) 【内容】高校世界史と日本史を、あえて接続して考えてみます。例として、モンゴル帝国時代に、世界が銀を媒介にして結合した事例をあげます。日本も銀算出から中国を媒介に世界と結合しました。その後、銀算出の低下や元の軍事的弱体化などから途絶えがちになった世界経済でしたが、ヨーロッパからみた大航海時代、日本の鎖国、開港などを経て、世界は再度結合を志向します。	20名程度	授業実施期間内で調整:ただし、10/4～31は不可	全国可	受入不可
1329	経済学研究科	1930年代の日本(経済史から考える) 【内容】1930年代の日本は、高校日本史においては、とりわけ軍部の暴走、戦争に次ぐ戦争、といった暗いイメージで語られます。しかし、一方で経済史的にみれば急速に経済成長し、現代を形作る一つの転機でもありました。このように、1930年代を多様な観点から論じることで、日本内地、植民地、欧米諸国、戦争、といった当該時代のキーワードを、整合的に整理し、捉え直します。	20名程度	授業実施期間内で調整:ただし、10/4～31は不可	全国可	受入不可
1401	理学研究科	なぜいま植物ウイルスか 【内容】大学ではどんな研究をするのか(高校までとの違い)や、わたしがいま行っている研究についてご紹介します。これまで農作物に集中してきた植物ウイルスの研究を、私は自然環境下で行おうとしています。自身がこれまで分野移動してきた経験も含め、驚いたこと、面白かったこと、自分が見つけた事…などをお話できればと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整	京都、大阪、兵庫	受入可
1402	理学研究科	宇宙箱舟ワークショップ 【内容】人類が宇宙へ移住するという設定で、宇宙へ連れていく生き物を選択する中で、生物同士のつながりや多様性を考えるワークショップです。答えのない問題に取り組むため「正解」はなく、「選択」をめぐる生徒同士の議論を中心に進めます。	30名程度	授業実施期間内で調整	京都	受入可
1403	理学研究科	骨格から紐解く、イルカのたどった進化のキセキ 【内容】現在、最も水中生活に適応した哺乳類が、イルカ・クジラです。ところが、イルカ・クジラの祖先は、陸上で四足歩行のイヌサイズの動物で、偶蹄類に近い仲間でした。では、どのように陸上生活から水中生活へとダイナミックな変化が起こったのでしょうか？この授業では、様々な骨格標本や化石、レプリカなどを用いて、モノの形から、イルカ・クジラのとどってきた進化のキセキを紐解いていきます。特に、自身の研究対象であるマイルカ上科の進化について紹介します。	40名程度	8/3～8/28	全国可	受入可
1404	理学研究科	イルカは、どのようなプロセスで化石になるのか？ 【内容】地質時代に棲息していた生物は、化石という形で我々の前に姿をあらわします。では、どのようなプロセスで、生物遺骸は化石になるのでしょうか？化石化過程を明らかにすることで、化石になった生物が死亡した直前の状況に関する情報を抽出し、当時の生物を取り巻く環境や生態の一部が明らかになります。この授業では、イルカの化石化過程について、化石の産出状況や現生種の遺骸の腐敗過程についての先行研究とともに、自身の漂着遺骸の経過観察についての研究も紹介します。	100名程度	8/3～8/28	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



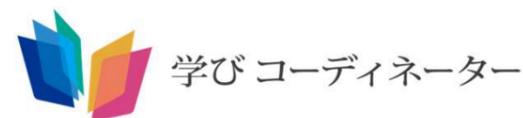
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1405	理学研究科	植物が季節を知る分子メカニズム 【内容】多くの植物は毎年決まった季節に開花することで、効率的に花粉の受け渡しを行い、種子を作ります。では、植物はどのようにして季節を読み取っているのでしょうか。この授業では、アブラナ科の植物を例に、植物が気温の変化を手がかりとして春に開花するしくみ(分子メカニズム)についてお話しします。また、講師の普段の研究生活や現在の研究にたどり着いた経緯なども合わせてご紹介いたします。	指定なし	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1406	理学研究科	植物の「記憶」を担う遺伝子を探して 【内容】植物の「記憶」と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。我々動物と違い、脳を持たない植物が何かを記憶することは想像しにくいかもしれません。近年、植物は生存や繁殖に有利になるよう、様々な環境要因を「記憶」するしくみを持っていることが明らかになってきました。この授業では、次世代シーケンサーという近年急速に発達している最新機器を用いて、全遺伝子レベルで植物の「記憶」を担う遺伝子を探索する研究について紹介いたします。	指定なし	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1407	理学研究科	化学反応のシミュレーション 【内容】化学反応は、私たちの身体の中やキッチン、工場のプラントなど身の回りの色々なところで起こっています。みなさんは化学反応がどのように起こるか考えたことがありますか。その謎をシミュレーションを用いて、視覚的に解明していきましょう。反応の進行と共に、原子や電子がどのように動き、エネルギーがどう変化するのか。何が反応の速度を決めているか。みなさんを原子や電子が躍動するマイクロの世界に招待します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/15～20、火・水曜日午後は不可	全国可	受入可
1408	理学研究科	酵素のメカニズムを視てみよう 【内容】私たちの身体の中では、絶えず化学反応が起こり、その組合せによって生命が維持されています。その化学反応を制御しているのは主に、酵素と呼ばれる触媒です。アミラーゼなどの消化酵素が代表的です。鍵と鍵穴の関係に例えられる基質特異性とはどのようなものなのか、酵素はどのように反応速度を大きくしているのか、シミュレーションを用いて視てみませんか。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/15～20、火・水曜日午後は不可	全国可	受入可
1409	理学研究科	重力波ってなに? 【内容】宇宙物理学とはどういう学問なのかを発表者の研究内容である重力波天文学を中心に紹介します。重力波は今まで直接検出されることがなく、近年重力波の初検出を目指して世界中で観測計画が進行しています。重力波によってブラックホール同士の合体といった光では見ることのできない現象が観測できると期待されています。この発表では重力波によって今後どのような天文学が切り開かれるかを発表します。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1410	理学研究科	宇宙ってなんなの? 【内容】現在行われている最先端の理論宇宙物理学を発表者の研究室の研究内容を中心に発表します。宇宙といっても様々な謎が存在します。ブラックホール。超新星爆発。惑星や恒星はどうできてどのように進化していくのでしょうか。そもそも宇宙はどのようにしてできたのでしょうか。これらの内容を時間が許す限りわかりやすく話します。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
1411	理学研究科	鉄と生命の関わり 【内容】鉄は、微量ながらも生体に必須な元素と言われていて、体内では恒常性維持機能が働いて絶妙なバランスで鉄濃度が保たれ、また臓器ごとに鉄の酸化数を変えて存在することも知られています。近年では、このような鉄代謝理解に加えて、鉄の同位体比を用いた鉄代謝の理解が進んでいます。一見、全く関わりのないように思われる鉄と生命ですが、鉄同位体比を用いると色々な面白い情報が導けることをお話しします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/21、9/8～20は不可	京都、大阪、兵庫、奈良	受入可
1412	理学研究科	海の不思議 【内容】近年宇宙開拓が進み、何光年も離れた星の情報が分かっています。しかし、地球上には未だ開拓されていない場所が多く残っています。それは、「海」さらには「深海」です。生命は、海で誕生したと言われています。生命の起源そして進化をたどるためには、海に生きる生物の生態を知る必要があります。生命が誕生したと考えられる、過酷な環境に生きる生物たちの生態を最新の研究結果をまとめて紹介いたします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/21、9/8～20は不可	京都、大阪、兵庫、奈良	受入可
1413	理学研究科	最先端イメージング技術と生命科学への応用 【内容】自然界には、おおよそ100種類の元素が存在すると言われていていますが、生き物はその中でも特定の元素だけを用いて生体を構成しています。元素が身体のどの部分に多く濃集し、またどれほどの元素が同じような分布を持つ傾向にあるかなど、レーザーと誘導結合プラズマ質量分析計(ICP-MS)を組み合わせた最先端のイメージング技術を用いることで、生体内における元素の分布を測定できることをお話しします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/21、9/8～20は不可	京都、大阪、兵庫、奈良	受入可
1501	医学研究科	賢くなり、『学問』も好きになる方法 【内容】『賢い』って何でしょう? どうやったら『賢く』なるのでしょうか? 賢くなる秘密教えます。でも勉強は嫌いだからやりたくない? じゃあ、ついでに『学問が』好きになる方法も教えます。脳科学の知見を交えて賢くなった後、勉強をするかどうか決めてもいいんじゃないでしょうか?	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし月・火・木曜日は不可	全国可	受入可
1502	医学研究科	職業とはなにか? 夢とはなにか? ~ブラックジャックになりたい~ 【内容】仕事はしないとかだめなの? 夢って叶わないものなの? ブラックジャックBJ(手塚治虫作品)を例に、自分の職業とは、夢とは何か考えてみませんか? BJになる方法も教えます。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし月・火・木曜日は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



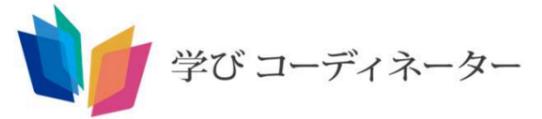
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1503	医学研究科	iPS 細胞ができるまで 【内容】iPS 細胞が発見されるまでの歴史的背景、iPS 細胞の臨床応用への有用性、iPS 細胞の樹立メカニズムを解明する意義について簡単に紹介します。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/6、9/19～23、11/17～20、月・木曜日は不可	全国可	受入可
1504	医学研究科	歴史から学ぶ漢方医学 【内容】「漢方医学」は日本の伝統医学であり、遣唐使が中国から生薬学の書物などを持ち帰ったことが始まりとされます。その後において、日本で独自に発展し、江戸時代にはオランダ医学の「蘭学」と区別するために「漢方」と名付けられました。漢方は生薬の複合薬であることから、自然環境の保全を考えるための学習の機会とすることができます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、火・金曜日は不可	全国可	受入可
1801	工学研究科	微生物と環境問題 【内容】地球温暖化、水質汚染、森林破壊といった、一見微生物とは関係のなさそうな環境問題も、実は微生物が関係しています。本授業では、微生物自体(病原微生物)による環境水の汚染について、その研究例を紹介します。また、微生物を利用したプラスチック等の有用物質生産についても触れ、微生物学による環境問題へのアプローチの最前線についてを概観します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、8/1～10、9/10～20は不可	全国可	受入可
1802	工学研究科	建物を見て歩いて学ぶイタリア近代建築史 【内容】一般的に建築を紹介するときには、その建設技術や外観についての話が多いです。しかし、その建築が背負っている歴史的な背景や社会状況にも目を向けることで、私たちの興味はその国や地域の文化にまで広がっていきます。1920～30年代のイタリア建築史を題材に、歴史を学ぶことの楽しさ、海外の文化に触れることの意義を自身の旅行記を紹介しながら、伝えていけたらと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/4～6、9/26～10/12、8月初旬と10月以降の火・木曜日は不可	全国可	受入可
1803	工学研究科	イタリア・ルネサンス期の建築家から学ぶ 理論と実践の間の重要性 【内容】ルネサンスが13世紀から15世紀にかけてイタリアで始まった頃に建築家という役割が認められ始めました。当時の中心人物として、理論を重視するL・B・アルベルティや実践を重視するF・ブルネレスキを挙げることができます。2人は同じ建築家として分類されていますが、上記のような異なる特色があります。今回の授業を通じ、学校で勉強する理論と社会での実践の橋渡しができたらと思います。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/4～6、9/26～10/12、8月初旬と10月以降の火・木曜日は不可	全国可	受入可
1804	工学研究科	流れの物理 【内容】空気や水の流れを扱う物理の分野「流体力学」の紹介(飛行機がなぜ飛べるのか、テニスボールの回転と弾道、etc)を、なるべくやさしく、高校や中学で学ぶ理科と関係させて行います。また、私が現在取り組んでいる希薄気体力学(宇宙空間などの真空に近い気体の力学)の研究の概要を紹介します。高校での学びがいかにかに大切なのかということもお伝えしたいと思っています。	50名程度	8月17日～9月20日、10月5日～11月15日	要相談	受入不可
1805	工学研究科	電気でエネルギーを送ろう 【内容】電気は、エネルギーを送るのに便利なエネルギー形態です。この電気エネルギーには、コンセントから伝わる交流、乾電池の直流など、様々な種類があります。本授業では、スイッチを使うことで、このような電気の形を変換し制御することを学びます。授業中に、電力変換の実験デモを行う予定です。また、電力変換の技術の発展として、現在研究を行っている電気エネルギーをパケット化して伝送する技術を紹介します。	50名程度	8/1～6、8/24～9/7、9/14～11/6、11/11～20、11/30	全国可	受入可
1806	工学研究科	エネルギー変換 【内容】人類は約50万年前、火の利用を始めたことにより他の動物と一線を画しました。18世紀半ばに産業革命の発端となる蒸気機関が発明されたことにより、人類の人口は爆発的に増加しました。そして今、地球温暖化や化石資源の枯渇問題を前にし、我々はエネルギーの有効利用に躍起になっています。こういった例を挙げながら、「エネルギー変換」というキーワードを中心に据えて話題を提供します。	40名程度	8/11～31、9/1～3、7～11・18、21～23、10/5～8、12・14・16・19・21・23・26・28・30	要相談	受入不可
1807	工学研究科	水素社会 【内容】エネファームや燃料電池自動車の実用化が始まり、エネルギーキャリアとしての水素の重要性が高まっています。旧来の化石燃料利用から水素利用に至る道のり、水素利用のメリットとデメリット、様々な水素利用技術を紹介し、燃料電池技術については少し掘り下げ、今後必要とされる技術的ブレイクスルー等についても紹介します。	40名程度	8/11～31、9/1～3、7～11・18、21～23、10/5～8、12・14・16・19・21・23・26・28・30	要相談	受入不可
1808	工学研究科	建築物の建設における建築家とエンジニアの役割について 【内容】1960年代に活躍したイタリアを代表するピエール・ルイジ・ネルヴィは、建築家とエンジニアの2つの役割を1人でこなそうとしていました。彼の建築作品や言説を参照しながら、建築物の建設における建築家とエンジニアの役割や関係性について考えたいと思います。また、現在の日本とイタリアの建築教育の違いや、学科(学部)の組織の違いなども紹介します。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/4～6、9/26～10/12、8月初旬と10月以降の火・木曜日は不可	全国可	受入可
1809	工学研究科	台湾の日本統治時代建築から見る近代の日本 【内容】台湾の日本統治時代建築・都市の発展は日本の近代化に密着していたと言えます。台湾建築の視点から日本近代化の文脈を把握することは授業の中心です。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/4～8、8月初旬と10月以降の火・木曜日は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



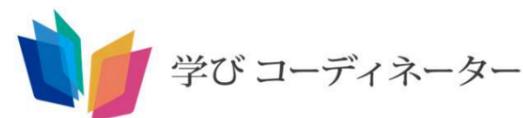
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1810	工学研究科	台湾人の「哈日(ハーザー)」文化 【内容】「哈日(ハーザー)」とは日本の現代大衆文化を熱中する現象です。世界中最も親日の国と言える台湾は、日本文化の浸透に関する現状とそのなかにある歴史・文化の源流を紹介いたします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/4～6、8月初旬と10月以降の火・木曜日は不可	全国可	受入可
1811	工学研究科	マイクロ流体デバイスを用いた一細胞解析 【内容】一細胞解析は従来の創薬、癌研究等を一変させる可能性があり、近年注目を集めている分野です。その中でもマイクロ流体デバイスと呼ばれる集積化流体機械を用いた方法は効率的かつ高感度の一細胞測定を可能にする新しい技術です。本一マでは一細胞解析研究で利用されている最新のマイクロ流体デバイスおよびその製作方法についてわかりやすく紹介いたします。また本講義は英語にて実施いたします。	指定なし	9月の月・金曜日	全国可	受入可
1812	工学研究科	電気で「モノ」を動かそう 【内容】身の回りには、電気で動く「モノ」があふれています。それらはエネルギーとしての電気(電力)を用途に合った形態に変えて利用しています。こうした技術は照明から自動車まで幅広く用いられており、私達の暮らしには欠かせません。本授業では電気エネルギーと情報を統合して扱うことでモノを動かすことを目指した最近の研究について紹介いたします。また実験を通じて、電力で実際に「モノ」を動かせることを体感して頂きます。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、8/1・9、10/17～24、10月以降は月・火曜日は不可	全国可	受入可
1813	工学研究科	電力・エネルギー供給の物理 ―振り子によるアプローチ 【内容】振り子(振動)の力学は、高校の物理でも登場し、科学や工学における基本的な対象の一つです。その考え方は力学に限らずさまざまな分野へと応用されており、多数の発電機が接続された電力システムも振り子の集まりとみなすことができます。この授業では、近年の再生可能エネルギー源の導入に向けた電力・エネルギーシステムの解析やデザインへの応用について研究内容を紹介します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、8月は不可	全国可	受入可
1901	農学研究科	熱帯林の植林地は地球温暖化を守る? 【内容】炭素吸収源である熱帯林が減少すると地球温暖化が加速してしまうため、1990年代から植林が世界的に行われてきました。しかし、それは新たな問題をも引き起こしたのです。植林には成長が早く劣悪な環境にも耐えられるマメ科樹木が良く用いられますが、これらが窒素固定によって土壌中窒素濃度を上昇させ、別の温室効果ガスである亜酸化窒素を大量に放出したのです。これはどうすれば抑えられるのでしょうか?	100名程度	8月第1週、10月上旬、11月上旬	全国可	受入可
1902	農学研究科	熱帯林の土は養分が多い? 【内容】熱帯林は、非常に大きな樹木が多く存在しており、さぞかし豊かな土壌が広がっていると思うかもしれませんが、実際熱帯の土壌は非常に貧栄養であり、熱帯の樹木は様々な方法によって養分を逃がさない仕組みや養分を有効に利用する仕組みを作って生態系を維持しています。このような仕組みについて解説します。	100名程度	8月第1週、10月上旬、11月上旬	全国可	受入可
1903	農学研究科	食の歴史と環境のかかわり方―牛とひとの関係から考える 【内容】環境という気候変動や熱帯林保護など大きな話を思い浮かべるかもしれませんが。しかし身近なところでも、私たちは食を通して環境と直接つながっています。植物の栽培、動物の家畜化などひとがどう自然資源を利用し管理してきたのかについて、日本人と牛をテーマに授業を行います。食の歴史は人と環境のかかわり方の歴史でもあることを理解します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、月・火曜日は不可	全国可	受入可
1904	農学研究科	「和食」ってなに?―食の未来を考えるために 【内容】「和食:日本人の伝統的な食文化」が世界文化遺産に登録されましたが「和食」とは何かを説明できる人は少ないでしょう。また、モデルとされる一汁三菜かつ健康的な食事パターンが1980年頃に形成された歴史的には非常に新しいものであることはあまり知られていません。食の歴史的变化とその要因を探ることで、食が静的なものではなく、私たちの日々の食事実践が未来の食を形作っていくことを理解します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、月・火曜日は不可	全国可	受入可
1905	農学研究科	食から歴史を考える―「和牛」の誕生 【内容】日本は経済水準の割に食肉消費量が少なく、一方で神戸ビーフのように世界で高く評価される黒毛和種を育て上げて来ました。牛肉食は日本の食を特徴づける重要な食材なのです。文明開化期の牛鍋ブームから黒毛和種の誕生まで、牛肉食を歴史的に理解することで、人びとの生活目線の歴史像を提供します。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、月・火曜日は不可	全国可	受入可
1906	農学研究科	太陽も土もいらない野菜栽培 【内容】野菜を育てるには太陽の光や土が必要です。しかし植物工場では太陽光をまったく必要とせず、例えば都心のビルの一室で野菜を水耕で育てることができます。近年の異常気象による野菜の安定供給問題や、原発事故以来問われる食の安全問題を解決できる次世代の農業システム、植物工場。その研究最前線を自身の研究を交えて紹介します。	指定なし	授業実施期間内で調整	京都	受入可
1907	農学研究科	歩けない植物は武装する 【内容】植物は歩くことができません。もし、突然過酷な環境に放り込まれてしまったら?走って逃げることもできない植物は自身の形態を変化させ適応しようとする。環境を認識するのは植物のどの部分なのでしょう。感知した後、形態変化を促す分子メカニズムはどうなっているのでしょうか。植物バイオサイエンスの遺伝子解析を自身の研究を交えて紹介します。	指定なし	授業実施期間内で調整	京都	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



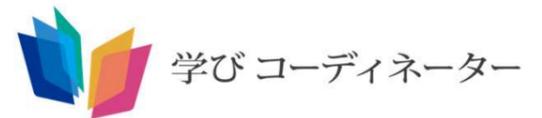
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1908	農学研究科	ヒトは遺伝子でどこまで決まるのか？ 【内容】近年の遺伝子解析技術の進展は目覚ましく、多くの企業により遺伝子検査ビジネスが行われ、数万円あれば自分の遺伝子を決定することができます。では、ヒトは遺伝子によってどこまで決まるのでしょうか？がんや糖尿病などの病気のなりやすさ、運動能力、そして知的能力。本授業では、遺伝子とは何かから始め、遺伝子で何がどこまでわかるのか、そして遺伝子に関する技術は今後の社会にどのような影響を与えていくのかを解説します。	200名程度	授業実施期間内で調整:ただし、月曜日は不可	全国可	受入可
1909	農学研究科	DNAから見る微生物の世界 【内容】微生物は、目には見えないながらも環境中に膨大な数で存在しており、例えば海水1 mlの中には10～100万細胞の微生物が存在します。このような膨大な数の微生物を解析する手段として、生物の根幹を担うDNAを対象とした分子生物学的手法が発展してきました。本授業では、DNAについて研究する上で必須なPCR技術から、微生物の網羅的な探索を可能とした近年のメタゲノム解析技術およびその技術により明らかとなった微生物の実態について解説します。	200名程度	授業実施期間内で調整:ただし、月曜日は不可	全国可	受入可
1910	農学研究科	～仏教・儒教・道教からみる日本と中国の庭園～ 【内容】「なぜ日本の庭は松が多く、中国の庭は竹が多いですか？」日本と中国の文化の繋がりが非常に深い、そこから生まれた庭園はどんな異同がありますか？授業はたくさんの写真を通して、両国の歴史と文化の面白さを紹介します。中国三千年前の話をはじめ、庭園の異同の本質を仏教・儒教・道教の広い視点から一緒に探します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/8～10、10/10～14、11/7、10月以降の木曜日は不可	全国可	受入可
1911	農学研究科	日本の枯山水と中国の水墨画～日本庭園にある独特な「無の空間」をみてみよう～ 【内容】白砂を広く敷いている竜安寺の枯山水のような、日本庭園にある「無の空間」は、全世界から見ても独特なものです。実はこの「無の空間」は中国の水墨画の「余白」と深い繋がりがあります。授業はさまざまな水墨画と庭の写真を通して、日本と中国の文化の面白さを紹介し、両国の美の感性の本質を一緒に探します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/8～10、10/10～14、11/7、10月以降の木曜日は不可	全国可	受入可
1912	農学研究科	日本の山石と中国の太湖石～石からみる日本と中国の庭園の違い～ 【内容】日本の庭にある石のほとんどは黒めの山石ですが、中国の庭にはどんな石が多いのでしょうか？その答えは「太湖石」という湖の底から取った白い石です。では、なぜ両国の石の好みが違うのでしょうか？授業はたくさんの石と庭の写真を通して、何千年前の話から日本と中国の文化の異同を紹介し、石材と庭園の面白さを伝えます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/8～10、10/10～14、11/7、10月以降の木曜日は不可	全国可	受入可
1913	農学研究科	森林をどう「評価」する？ 【内容】日本は国土が狭い割に人口が多いため、どうしても山や森林を開発する必要が出てきます。昔から、切り開いてしまった場所に元のような森林を作ろうとする試みがされてきました。せっかく森林を作るなら良い森林を作りたいものですが、では「良い森林」とは一体どういうものなのでしょうか。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/2～6、8/9、8/30～9/2、10/25～29は不可	全国可	受入可
1914	農学研究科	人工的に作られた斜面に森を作る:斜面緑化 【内容】日本には山地が多く、道路や住宅地といった平地を作るためには山を削ったり土を盛り上げたりする必要があります。平地の副産物として出来た人工の斜面は、そのまま放っておくとどのような状態になるのでしょうか。そしてこの斜面をもとのような森林にしようとする、どういった問題が発生するのでしょうか？	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/2～6、8/9、8/30～9/2、10/25～29は不可	全国可	受入可
1915	農学研究科	この木何の木？ 樹種同定 【内容】森林を調査する上で、「そこにどんな木が生えているか」はもっとも重要な情報の一つになります。しかし、よっぽど見知った木でなければ、一目見て種類を判別することは困難です。そこで木の特徴から名前を調べることになるのですが、一体どこを見たら良いのか……。主に葉を見て名前を調べる方法をお伝えします。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/2～6、8/9、8/30～9/2、10/25～29は不可	全国可	受入可
1916	農学研究科	細胞のリプログラミング 【内容】人工多能性幹細胞(iPS細胞)をはじめとする体細胞をリプログラミング(初期化)する技術は、近年飛躍的な発展を遂げてきました。それらの技術は再生医療などの分野で大いに期待されていますが、そのメカニズムに関しても研究されています。本授業においては、リプログラミングの分子機構に着目し、最新の報告を交えながら、その一部を紹介します。	30名程度	授業実施期間内で調整	—	受入可
1917	農学研究科	動物の多能性幹細胞 【内容】人工多能性幹細胞(iPS細胞)の技術は、ヒトでの再生医療で大いに期待されていますが、農学分野においてもいくつかの利点があります。本授業においては、多能性幹細胞に関して、ヒトやマウスだけでなく、その他の哺乳類や、鳥類での研究を紹介します。	30名程度	授業実施期間内で調整	—	受入可
1918	農学研究科	協調社会の進化 - 社会生物学入門 - 【内容】私たち人間は高度な学習能力や文明を進化させた極めて特殊な生物です。しかし同時に、全ての生物と共通した「遺伝子」を持ち、身体の構造、さらには行動までを多くの動物と共有しています。生物学の研究に基づいて人間(ヒト)を捉え直すことは、私たちが自分自身を理解し、より良い社会を築くための興味深い試みです。なぜ人は協力し合い、なぜ争うのか。人間社会の仕組みを生物学の視点から読み解いてみましょう。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、9/6～12、10月以降の金曜日午前は不可	全国可	受入不可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



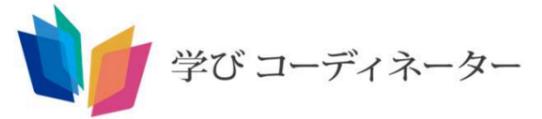
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
1919	農学研究科	虫さん、どうしてその花にしたのですか？ 【内容】花を観察していると、実に様々な種の昆虫が訪れることに気がきます。ツツジにはチョウやハチがよく訪れ、タンポポにはそれに加えてアブがよく訪れます。虫たちは訪れる花を何によって決めているのでしょうか - 色か、形か、花蜜か？ 答えは「残念ながらよくわかりません。花と昆虫の関係は、かつて考えられていたよりもずっと複雑であることが、近年の研究で分かってきました。この複雑な共生系を、発表者の自身の野外観察結果も交えながら、ちょっとだけ紐解いてみます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、10/12～17、10/27～10/29、10月以降の月曜日は不可	全国可	受入可
1920	農学研究科	ミツバチが見る世界 【内容】ヒトが捉えることが出来る光の領域は、400nmから800nm (青から赤) である一方、ミツバチのそれは、300から650nm (紫外線から緑) です。ミツバチには赤色は見えませんが、紫外線が見えるのです。そのため、ミツバチから見た花の色は、ヒトから見たものとは異なります。本授業では、ミツバチの視覚システムを紹介した上で、彼らの眼から見た花が、人の眼から見たものと異なることを、紫外線領域撮影カメラで撮影した花の写真を見ることで実感してもらいます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/6～12、10月以降の金曜日午前は不可	全国可	受入可
2001	人間・環境学研究科	高校とは何か？【主に一年生向け】 【内容】「みんなが行くから自分も当然行くものとして高校に進学したけれど、そもそも「高校」って何だろう？」「小・中・高・大という並びのなかで「高」って浮いている気がするけどそれはどうしてか？」「普通科」って何？」「普通」ってどういうことだろうか？」・・・といった疑問について、この授業では歴史に即しつつ生徒のみなさんといっしょに考えてみたいと思います。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降は土曜日のみ(10/24は不可)	全国可	受入可
2002	人間・環境学研究科	文系vs.理系？【主に二年生向け】 【内容】「数学が苦手だから」とか「答えが一つでないのが嫌だから」とか、その程度の理由で文系/理系の選択をしようとしていませんか？ 速断する前に、そもそも両者の違いについて少し学問(科学)の歴史に遡って学んでおくのも悪くないはず。・・・もしかしたら、苦手(嫌い)だと思っていたものがそれほどなくなるかもしれません(少なくとも苦手な理由がより明確にはなるはず)。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降は土曜日のみ(10/24は不可)	全国可	受入可
2003	人間・環境学研究科	大学とは何か？【主に三年生向け】 【内容】「高校と大学は違う・・・ような気がするけれど、具体的に何が？」 なんとなく大学に進学してそのまま通過してしまわないために、この授業ではそれが「教師と学生の組合(くみあい)」である(あった)ことを大学のそもそもの起源に遡って示します。世の中の変化にあわせて大学も変わってゆきますが、それでもやっぱり「自ら学ぶ人」のための場所なのです、大学は。	指定なし	授業実施期間内で調整:ただし、10月以降は土曜日のみ(10/25は除く)	全国可	受入可
2004	人間・環境学研究科	前衛詩を作ってみよう 【内容】現代は前衛芸術の時代です。言葉は日常的な意味を脱し、伝統的な形式・リズムが壊滅し、詩人たちは言語の壁に向かって突進しています。こういった詩は、技法や規則などの知識がなくても書けます。自分にとって1つ1つの言葉や文章は、そしてあなたにとって日本語は、つきつめればどのような意味を持つのでしょうか、そのことを表現する上で、現代の前衛詩を実際に書いてみて、言葉の真髄を各人に体験してもらいます。	100名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2005	人間・環境学研究科	ことばで絵を描く 【内容】20世紀、西洋・ブラジル・日本を中心に、具体詩という芸術が爆発的に広まっていきました。その作者らは、語や文や字が持つ意味をバラバラに解体し、まったく新しい世界に組みこんでいました。古代の象形文字から2ちゃんのAAに至るまで、言葉で絵を描く行為の中でも、具体詩は言語創造の究極次元に達していました。具体詩は誰にでも書けます。この授業では、参加者が具体詩を実際に書いてみて、言葉の深遠に触れてもらいます。	100名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2006	人間・環境学研究科	言葉の哲学 【内容】なぜ小さいものにも「大きさ」があるのでしょうか。どれだけ軽くても数グラムは「重」量があります。どれだけ近い人とも距離「離」れています。私たちは普段ことばを使う時にこういったことを考えているのでしょうか、いいえ。また、考えることなしに言葉を使うことはできるのでしょうか。あるいは、考えることは言葉を使うことと別のことでしょうか。この授業では、日常の言葉の使用をよく眺めて、言葉というものの正体を解き明かします。	100名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2007	人間・環境学研究科	「会話のルール」について考えてみる 【内容】我々が日常的に行っている会話には、さまざまなルールがあります。例えば、質問をされたら、なにか知っていることを答えるなり、「知らない」と応じるなりといったものです。「ルール」ですので、「反則」することや、諸々の事情により守れないことがあります。また、「正しい会話の作法」というような、マナーに関わるものでもありません。そんな「会話のルール」について話します。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/26、9/5・6、12～15、20・21、30、10/28、11/25、28・29は不可	全国可	受入可
2008	人間・環境学研究科	コミュニケーションとはどんなものか 【内容】「コミュニケーション」とは、どんなものなのでしょうか。少し考えてみれば、ただ情報をやりとりしているわけでもなければ、あいさつのように「相手に敵意のないことを示す」だけでもないのは明らかそうです。では何をしているのか？ これは簡単な問いではありません。コミュニケーションは実際、20世紀後半以降の科学における最も重要な問題のひとつです。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/26、9/5・6、12～15、20・21、30、10/28、11/25、28・29は不可	全国可	受入可
2009	人間・環境学研究科	グローバル社会と英語:国際コミュニケーションのための英語とは何か 【内容】グローバル化がますます進む21世紀のこれから、国際的に活躍するためには、英語が必須のコミュニケーション・ツールと考えられています。では実際に英語を話す人は世界にどれくらいいて、どのような地域・場面で、英語は使われているのでしょうか。世界共通語としての英語の使用状況について、具体的な資料や研究成果を用いて説明します。グローバル社会において、英語を学ぶ意義について、一緒に考えたいと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、10/1以降の金曜日は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



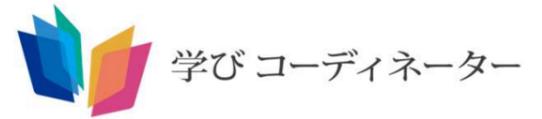
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
2010	人間・環境学研究科	DNAから見る生物多様性って何だろう? 【内容】「生物の進化」と聞くと、数千万年前のことを想像する人が多いのではないのでしょうか？生物は今も様々な形で進化を続けています。本内容は、同種の植物のDNAの塩基配列を比較することで、植物の歩んできた数千年単位の歴史について解き明かしていきます。合わせて、生物多様性の中の「遺伝的多様性」についてもお話します。	40名程度	授業実施期間内で調整・ただし、水曜日は不可	関西地方	受入可
2011	人間・環境学研究科	学校校歌の成立とその背景 【内容】明治20年代から昭和戦前期までを射程に入れ、「校歌」の成立を歴史的な観点から捉えます。今日、各学校で当然のように制定され、歌われている「校歌」はいつ頃からつくられるようになったのでしょうか。またどのような目的のもとにつくられていたのでしょうか。こうしたことを、当時、学校教育を統轄していた文部省、校歌を制定する側にあった学校、そして校歌を作成した作詞家・作曲家の三者の立場を踏まえながら検討していきます。	35名程度	8/18～9/30、10/1以降の水、木、金曜日	要相談	受入不可
2012	人間・環境学研究科	校歌の内容比較—旧制中学校と高等女学校の校歌を題材として— 【内容】明治5年公布の学制から昭和戦前期までの間、日本における中等教育を担っていた旧制中学校、および高等女学校の校歌を題材として取り上げます。男子が通った旧制中学校の校歌と女子が通った高等女学校の校歌の歌詞、および旋律を比較し、それぞれの差異を把握することで、旧制中学校に通った男子に期待されていたことと高等女学校に通った女子に期待されていたことを検討します。	35名程度	8/18～9/30、10/1以降の水、木、金曜日	要相談	受入不可
2013	人間・環境学研究科	江戸時代の庶民の生活—京都における商家奉公人の雇用から— 【内容】一般的な歴史は支配者の立場から描かれますが、どんな時代にも多数の庶民が生きていました。本授業では、江戸時代後期のそうした庶民の生活の一部をみていきます。具体的には、京都のとある商家の奉公人を対象にして、彼らがどのような背景を持つ人々であったのか、出身地域や出身階層などの点から明らかにします。それを通じて、史料から当時の一般社会をどのように描けるのか、紹介したいと思えます。	100名程度	授業実施期間内で調整・ただし、8/3～7、9/18～20、11/7～8、14～15、火・水・金曜日は不可	全国可	受入可
2014	人間・環境学研究科	なぜ古典を読むのか—哲学研究の方法— 【内容】哲学研究と聞いて、皆さんはどんな仕事を思い浮かべるのでしょうか。多くの哲学者が研究と称して主に行っている作業は、昔の偉い哲学者が書いた本を細かく、丹念に読み込むというものです。これは一見すると非常に回りくどい、無用な作業のように思えます。ところが、これが非常に大事なことです。この授業では、哲学研究の方法を紹介しながら、皆さんに「古典」を読むことの意義をお伝えします。	100名程度	授業実施期間内で調整・ただし、8/7・22、10/17・24・25、11/7・8・21・22、月曜日は不可	全国可	受入可
2015	人間・環境学研究科	読書のチカラ—哲学と科学の間で考える— 【内容】本を読むという行為は、私たちに近づく身近でありながらも不思議な行為です。「紙の上のインクの染み」を眺めるだけで、私たちは空想の世界を旅したり、数学や哲学の難解な概念を学んだり、感動して涙を流したりします。そうした体験をするとき、私たちの身には一体何が起きているのでしょうか。この授業では、認知科学の知見なども参照しつつ、現象学という哲学の一立場から読書という行為を分析します。	100名程度	授業実施期間内で調整・ただし、8/7・22、10/17・24・25、11/7・8・21・22、月曜日は不可	全国可	受入可
2016	人間・環境学研究科	〈見られる身体〉の哲学 【内容】私たちは〈他人に見られる〉存在です。この一見すると平凡で些末な事実は、実際には私たちの生活の深いところまで影響を及ぼしています。〈見られる〉存在だからこそ、私たちはおしやれをしたり、他人の期待通りに振る舞おうとしたり、悪いことをしたときバレやしないかと不安になったりするので。この授業では、ファッション、恋愛、道德などの問題を手がかりに、〈見られる〉という経験の哲学的意味を考えます。	100名程度	授業実施期間内で調整・ただし、8/7・22、10/17・24・25、11/7・8・21・22、月曜日は不可	全国可	受入可
2017	人間・環境学研究科	神社とお寺の違いって? 【内容】知っているようで知らない神社とお寺の違い。外国人のお友達に聞かれたら説明できますか？身近な生活をテーマに日本の宗教や習俗について学びます。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2018	人間・環境学研究科	美しいおじぎから学ぶ日本の心 【内容】国際化が進み、外国に行くこと、日本にいながらも外国の人に出会う機会が多くなってきています。「日本はどんな国ですか？」と外国人に聞かれたら答えられますか。日本の伝統宗教である神道の立ち居振る舞いやお辞儀の仕方から日本人の心を学んでいきます。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2019	人間・環境学研究科	人はなぜ生きているのか? 【内容】どうして人はこの世に生まれて死んでいくのでしょうか？人生って何でしょう？なぜ勉強しないといけないの？進路について考えている高校生のみならず、神道を基盤にした日本人の死生観を紹介しながら、生きていくこととは何かを一緒に考えていきます。	50名程度	授業実施期間内で調整	全国可	受入可
2020	人間・環境学研究科	暮らしの中の弁証法 【内容】ほとんどの学者先生が、小難しいままに説明する弁証法。しかしそれは、身近な暮らしの中の、非常に重要な経験に基づいたものなのです。それが説くのは、「わたしはあなた、あなたはわたし」ということ。それは、「わたしはわたし、あなたはあなた」とだけ思って世界を狭くしている人への戒めなのです。「わたしはあなた、あなたはわたし」。何を言っているのか分からないかもしれませんが、これを理解すれば、あなたの世界との関わりが、ちょっとだけ豊かになると思うのです。	40名程度	授業実施期間内で調整	近畿地区	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



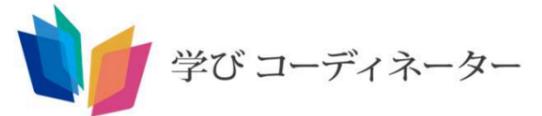
授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
2021	人間・環境学研究科	人間の強さとは何か 【内容】生きていくうえで、人としての強さというのは誰も考える機会があるのではないのでしょうか。その答えは、何かの本を読んで、あるいは実際に何かを経験して、直ちに分かる、という底の浅いものではないと思います。しかし、本や経験は、そのヒントを与えるでしょう。この授業では、ある哲学者を手がかりに、このことについて考えたいと思います。彼は、人は謙るとき強くなる、と言います。謙り、身を低くするとき強くなるとはどういうことか。これが分かれば、人の強さ、弱さについてちょっとしたヒントが得られるかもしれません。	40名程度	授業実施期間内で調整	近畿地区	受入可
2022	人間・環境学研究科	『資本論』の意義 —悪とは何か 【内容】現在、トマス・ピケティ著「21世紀の資本」が全世界で読まれています。この授業は、この100年以上前に、この「資本」の性質を鋭く分析した、カール・マルクス『資本論』について勉強したいと思えます。といっても、単なるお勉強ではありません。マルクスは怒っていました。この世には悪がはびこり、人々を苦しめている。と。しかし、悪というのは根深く、強大なものです。彼は、それをちゃんと分析しないと、悪には立ち向かえないと考えました。この授業を通して、このマルクスが立ち向かった「根深く、強大な」悪とは何なのかについて考えたいと思います。	40名程度	授業実施期間内で調整	近畿地区	受入可
2023	人間・環境学研究科	古典籍を修復・保存していくということ 【内容】日本には、数々の古い書物や巻物が遺されています。しかし、これら古典籍は、たとえ良いコンディションで保管されていたとしても、何年(何十年?何百年?)か一度は、修理に出す必要があります。実際には、良い環境で保管されているものはむしろ少なく、虫食いや、塗料の落下等の劣化により、修復に出され、甦るものも多くあります。公益財団法人冷泉家時雨亭文庫調査員としての経験を活かし、古典籍の修復の過程や、保存・継承していくことの難しさなどを講義していきます。	30名程度	授業実施期間内で調整:ただし8/29以降は火(15時以降)・水・金曜日可	全国可	受入可
2024	人間・環境学研究科	「文法」のスタート地点 【内容】高校生が苦手とする、国文法。その国文法というのは、いつごろからあったのでしょうか?昔の日本人は、和歌を詠むことが必要でしたから、平安時代から和歌の詠み方の本がたくさんありました。その中にいくつか文法のことが書かれています。本格的に「文法書」としてまとまった形になったのは、江戸時代のこと。高校生の皆さんにも馴染みのある本居宣長も、文法研究のスタート地点にいた一人です。江戸自体の研究者たちが、どのように「文法」を整えていくのか、講義していきます。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし8/29以降は火(15時以降)・水・金曜日可	全国可	受入可
2025	人間・環境学研究科	話しことばあれこれ 【内容】日本語は書き言葉と話し言葉が明確に区別されている言語です。読書感想文や小論文で、先生から「この表現は書き言葉には使わないよ」と×をつけられた生徒さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。でも、大いに話し言葉が使われている文献もあるのです。師匠に口で教えられたものを、そのまま筆記した「口述筆記」という類のものです。江戸時代の口述筆記から、その時代の話し言葉を見ていきます。やはり、話していることをそのまま文章にしたら、どこかおかしいところも出てくるので、みなさんと赤ペンを入れていきましょう。	30名程度	授業実施期間内で調整:ただし8/29以降は火(15時以降)・水・金曜日可	全国可	受入可
2101	生存圏研究所	植物バイオマスからエネルギー 【内容】化石資源の枯渇および過剰な消費による地球環境面への影響から、近年、再生可能エネルギーの必要性が高まっています。太陽エネルギーや風力エネルギー等も期待されていますが、バイオマスは液体燃料や工業原料剤すなわち有機化合物の炭素供給源となりうる大きな特徴です。本授業では、再生可能エネルギーとして注目されている植物バイオマスの利用について解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/17、火・木、10月以降は不可	全国可	受入可
2102	生存圏研究所	木材の構造とは 【内容】「木材」という言葉を知らない人はいないと思います。しかし、「木材の構造」を正確に知っている人もあまりいないでしょう。本授業では、木材を構成している組織・細胞レベルから分子レベルに至るまで段階的に説明すると共に、近年注目されている再生可能資源としての木材利用についても解説します。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/17、火・木、10月以降は不可	全国可	受入可
2201	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカの農民は「貧しい」のか? 【内容】一般的に日本においてアフリカは、「貧しい」や「危ない」、「紛争」といった負のイメージで語られることが多い。本発表では、「貧しい」という点に関して取りあげる。実際に中南部アフリカ・ザンビアの農村における、現地の人びとの暮らしをつぶさにみていくなかで、アフリカの農村に暮らす人びとが本当に「貧しい」のか、何をもって「貧しい」とするのか、考えていきたい。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/17～20、11/12～14は不可	全国可	受入可
2202	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカの焼畑農耕 【内容】アフリカでは現在でもなお、自然資源に強く依存しながら生活している人びとが多くいる。とくに農業でいえば、土地の持つ力(地力)を生かして、作物を栽培している。そういう人びとは、おもに自給生活を営んでいる。ザンビアの農村を例に、そこで営まれている焼畑農耕を取りあげ、アフリカの農村にくらす人びとの生活を理解する。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/17～20、11/12～14は不可	全国可	受入可
2203	アジア・アフリカ地域研究研究科	アフリカ農民の移動と都市 【内容】アフリカの農民というと、粗放的で自給要素の強い生活をしていると想像されることが多い。しかしアフリカ各国にも都市は存在し、たとえ農村部に居住していたとしても、都市は無関係ではなくなっている。本発表では、都市人口が多いザンビアにおける、都市と農村のあいだを移動する人びとの人生から、アフリカにおける社会経済の動態を理解する。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、9/17～20、11/12～14は不可	全国可	受入可
2204	アジア・アフリカ地域研究研究科	「アラブの春」の政変はどのように起きたか 【内容】2010年末から起こった「アラブの春」では、民衆の抗議活動がいくつもの独裁政権を破滅に追いやり、世界を驚かせました。授業では、「アラブの春」の発端となったチュニジアを事例に、独裁政権を瓦解させた民衆の活動の重要性を考えたいと思います。18歳以上に選挙権が与えられ、政治参加が求められている日本の若者にとっても、よい刺激になればと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、11/1～11/30は不可	全国可	受入可

平成27年度 提供授業一覧

※出前授業…学びコーディネーターが高等学校を訪問し、それぞれの研究成果をわかりやすく高校生に伝えます。

※オープン授業…京都大学を訪れる高校生に対して、学びコーディネーターがそれぞれの研究成果をわかりやすく伝えます。

※授業実施期間…平成27年8月3日～11月30日で調整いたします。



授業番号	担当講師の所属研究科	授業のおもな内容(予定)	受講者数	授業可能日	出前授業	オープン授業
2205	アジア・アフリカ地域研究研究科	異文化理解はどこまで可能か！？—文化人類学から考える他者理解— 【内容】グローバル化が加速する現代において、異なるバックグラウンドを持つ人々を理解することは、重要な課題です。 文化人類学では、この100年余りのあいだ、自分とは異なる文化や世界観を持つ人々を、どのように理解できるかという考察をしてきました。授業ではワークショップや、文化人類学でこれまでなされてきた議論を紹介しながら、異文化理解がどのようにどこまで可能となるのかを考えたいと思います。	40名程度	授業実施期間内で調整:ただし、11/1～11/30は不可	全国可	受入可
2206	アジア・アフリカ地域研究研究科	イスラームの多様性を理解する 【内容】近年、ISなどのイスラーム過激派の暴力行為が際立って報道されています。一方で忘れてはならないのは、世界の各地には約16億人のムスリム(イスラーム教徒)が暮らしているという事です。授業では、世界の様々な地域や、長い歴史の中における、多様なムスリムの信仰実践のあり方を紹介することで、イスラームの多様性について理解を深めたいと思います。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、11/1～11/30は不可	全国可	受入可
2207	アジア・アフリカ地域研究研究科	現代アフリカの都市の生活 【内容】アフリカってどんどこ？自然が豊かなイメージで語られることが多いですが、現在では経済成長や都市化が急速に進んでいます。いっぽうで、都市の生活にはアフリカらしさも見られます。現代のアフリカの都市に生きる人びとの生活から、いまのアフリカの姿について学んでみましょう。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/3～10/2は不可	全国可	受入可
2208	アジア・アフリカ地域研究研究科	現代アフリカのエネルギーと環境問題 【内容】日本で「エネルギー」というと、電気をイメージすることが大半ですが、アフリカでは、調理や照明に依然として薪や木炭、灯油などが使われることが多い。電気の需要も高まる現代のアフリカのエネルギーの消費と、それがもたらす環境問題について、ウガンダを事例に考えてみましょう。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/3～10/2は不可	全国可	受入可
2301	地球環境学舎	地球環境問題の現在と様々な取り組み・解決 【内容】 ・地球環境問題が日本において、社会的にどのような歴史をもっており取り扱われてきたのでしょうか ・近年の環境問題の国際的動向 ・環境問題の経済的な効果や、例えば風景や自然をお金の観点から評価するなどの理論的動向 ・生物多様性の実生活への導入と環境問題について	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/3・4、8/30・31、9/18～21は不可	全国可	受入可
2302	地球環境学舎	地球環境問題を解決する主体(NGO・NPO)(非営利組織論) 【内容】 ・環境問題を解決するための一主体としてのNPO/NGOについて ・日本におけるNPOの活動について	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/3・4、8/30・31、9/18～21は不可	全国可	受入可
2303	地球環境学舎	環境問題を知って考える 【内容】 ・環境問題を(テーマ1)のように紹介した後、例えば可否が大きく別れる再生紙の利用についてディベートを行います。 ・賛成側と反対側にわかれて、または国際会議のように途上国側と先進国側にわかれて受講者が参加し、考えることによって環境問題の諸問題を実際に考える機会とします。	15名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/3・4、8/30・31、9/18～21は不可	全国可	受入可
2401	情報学研究科	波で見る！観る！診る！～宇宙から体内まで～ 【内容】波、波動と聞くと物理嫌いの学生さんは蕁麻疹が出てしまうかもしれません。しかし気象レーダーや超音波エコー検査など、世の中には“波”を使った製品やシステムがあふれています。そんな中、私の所属する研究室では、PCなど計算機を使って、今までみることのできなかったものをみえるようにする方法(アルゴリズム)を研究しています。講義では高校数学、物理を絡めながら、波の原理から最先端の応用先とそのアルゴリズムまで紹介いたします。	50名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/8、8/25～9/6、9/8～11、11/21・28は不可	全国可	受入不可
2501	総合生存学館	人口減少を考える—人口移動の視点から 【内容】2000年代後半を境に日本は人口減少社会に突入しました。そんな中であつても、地方部から都市部への人口の移動は今なお続き地方部では人口の急激な減少に直面しています。人口減少局面にある日本において人口流動がどのようになっている、これからどうなっていくのか、人口構成の変化や昨今の事情も踏まえてお伝えします。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/5～9/5は不可	全国可	受入可
2502	総合生存学館	田舎暮らし再発見 【内容】こんな田舎は早く抜け出して、都会で活躍したいと考えていませんか？進学や就職といった理由で多くの若者が地方部から都市部へ移動しています。機会に溢れている都会はあこがれの対象なのかもしれません。しかし、最近では都市部で一定期間過ごした人が地方部へ移動し経験や能力を活かして活躍している姿が大きく注目を集めています。地方部への移動に焦点を当てて、その変遷と将来像について考えてみます。	100名程度	授業実施期間内で調整:ただし、8/5～9/5は不可	全国可	受入可